



写真: ナツツバキ (撮影: 平成19年7月12日)

「ナツツバキ」

ナツツバキの花は、繊細な白い花びらが美しい花ですが、開花から数日で散ってしまいます。

長 雨の季節が過ぎ、盛夏を迎えようとしています。夏の霧島山に咲く花の多くは、白い花びらを持ちます。

きびしい暑さの中で、涼やかに咲くナツツバキの花。繊細な白い花びらが美しい花ですが、開花から数日で散ってしまいます。そのはかない様子から「沙羅の木」としても親しまれています。

1つの花のいのちは短いですが、一輪また一輪と花を開き、6月末から7月下旬までの比較的長い間花を見ることが出来ます。

木の周りでは、ヒヨウモンチョウやセリチョウなどが花から花へ飛び交っています。

ナツツバキの花は、ツバキの花によく似ていますが、常緑樹のツバキとは異なり、冬には葉を落とす落葉樹です。樹皮はサルスベリに似て、まだらに剥がれ落ちてすべすべしています。

ナツツバキの仲間には、花がより小さいヒメシヤラがあります。山道に落ちたかわいらしい白い花で、その存在に気づくことが出来ます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ナツツバキ
Stewartia pseudo-camellia

ツバキ科ナツツバキ属の
 落葉高木